

技術条件書

公募する新技術

「都立竹台高等学校改築工事の節水トイレに関する技術」

建物用途（学校）を考慮しつつ、節水に寄与できる洋風大便器および小便器の技術を公募する。
本公募で求める技術条件を以下に示す。

A 性能基準

・節水性

ア 洋風大便器は、洗浄水量 6.5 L/回以下で衛生状態が保てること。

なお、洋風大便器は、一般社団法人日本レストルーム工業会「衛生器具に関する工業会基準 大便器汚物搬送性能」に定める基準（所定の条件において平均搬送距離が 10m 以上）を満たすこと。

イ 小便器は、洗浄水量 2.5 L/回以下で衛生状態が保てること。

B 機能性

ウ 洋風大便器は、連続使用が可能なものであること。

エ 臭気発生への配慮があること。

オ 点検清掃等に多くの手間がかからず、維持管理が容易であること。

カ 洋風大便器は、洗浄音が小さいこと。

なお、洗浄音は、一般社団法人日本レストルーム工業会「衛生器具に関する工業会基準 大便器洗浄音測定」に定める方法、又はこれと同等の方法により測定した値を示すこと。

キ 小便器の尿の飛び散り防止への配慮があること。

ク その他、より機能性を高める工夫や特筆すべき事項があれば記載すること。

C 先進性

ケ 特許等の取得あるいは申請の状況、技術論文の公表、受賞履歴、業界誌や新聞など紙面上の技術紹介により先進性が確認できること（自社のホームページのみの紹介は不可）。

D 経済性

コ イニシャルコストは、洋風大便器、小便器各 1 台の工事費（材料費および施工（歩掛）費）を算出すること。

サ 洋風大便器 30 台、小便器 18 台、生徒数を男子 480 人、女子 480 人とした場合の年間ランニングコストを算出すること（上下水道料金＋定期交換部品とし、算出条件を記載すること）。

なお、男子の使用回数は小便器 4 回/人・日、洋風大便器 1 回/人・日、女子の使用回数は洋風大便器 5 回/人・日とし、年間 200 日使用することとする。（洋風大便器で大小切替洗浄の機能を有する場合は、男子は全て大、女子は 4 回/人・日が小、1 回/人・日が大として算出のこと）

また、水道料金は 410 円/ m³、下水道料金は 310 円/ m³とする。

シ トータルコスト（イニシャルコスト＋ランニングコスト）を算出すること。

なお、ランニングコストは、D 経済性サと同条件とし、65 年分を算出すること。また、応募者における推奨耐用年数が 65 年以内の場合は、機器本体のみの更新費用（材料費および施工（歩掛）費）を加算すること。

E 施工性

ス 施工実績がある、もしくは施工が確実にできるものであること。

セ 工事全体の工程に大きな影響を与えず、制約条件が少ないこと。

以上